

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	長野工業高等専門学校
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ナガノコウギョウコウトウセンモンガッコウ
	大学等名2(連携大学等)	
	科目名	学外実習(実践工学演習)
	学部・研究科等名	専攻科
	担当教職員名・役職	長坂明彦・教授(専攻科長)宮崎忠・准教授(専攻科運営委員会・学外実習担当)松木敬芳・学生課課長補佐(学外実習担当)
	受講者数(H28年度実績)※インターンシップ参加者数	26
	受入企業等数	46
	受入企業等名	<平成28年度実績(順不同)>長野市役所上田市役所株式会社サンタキザワ信州大学工学部日東電工株式会社セイコーエプソン株式会社長野計器株式会社アルティメイトテクノロジーズ株式会社オリオン機械株式会社株式会社羽生田鉄工所株式会社KRC株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ株式会社西澤電機計器製作所シナノケンシ株式会社長野日本無線株式会社株式会社ミマキエンジニアリング日置電機株式会社株式会社都筑製作所【海外】泰日工業大学【海外】聯合大学【海外】シンガポールポリテクニク 等
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ,3.海外インターンシップ,6.大企業・グローバル企業でのインターンシップ,7.中小企業でのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事,2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業における業務の従事、課題の解決等を体験することなどの就業体験を行っている。社員の基幹的・補助的業務の一部を経験することや、自社の課題解決に取り組む体験を行っている。特に、長期における業務のプロジェクト等に関わり、業務における一貫した流れを体験している。最後に、インターンシップの成果等について、担当者や役員等に対してプレゼンテーションを行っている。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している,4.当該インターンシップは、必修科目として実施している,7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	専攻科1年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	12単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	後期授業期間中に、必修科目12単位(14週間以上)で実施している。事前・事後学習は、前期の実践工学演習(必修科目1単位)と連携して実施している。特に専門教育とのつながりをより明確にして学修を深化させることや、インターンシップを通じて高い就業意識と職業観を明確化させることを目的とし、シラバス等にも明記している。特に、長期であることから、業務に関わる様々なスキルを体得させる。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている,4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている,2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している,3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	学生および企業等から月報を提出してもらい、実施状況を確認している。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	専攻科1年次前期の実践工学演習の科目により、インターンシップの実施目的や教育的効果を説明するとともに、社会人マナーや守秘義務の遵守などの基礎的内容を理解させるための外部講師による研修会や、企業研究のための時間を授業に設けている。インターンシップ実施までに、学生・企業等による事前打合せを実施し、実施内容のすり合わせを行い、報告させている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ後にレポートを提出させ、到達目標および達成度や、インターンシップを通して得られたことなどのインターンシップ内容の振り返りを実施させている。また、報告会を実施して、全員がインターンシップの成果のプレゼンテーションを行い、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている。

	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ期間中に、教員が最低2回の企業等訪問を行い、学生および企業等担当者と面談を実施している。また、学生および企業等から月報を提出してもらい、実施状況を確認している
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	レポートを提出させ、到達目標および達成度や、インターンシップを通して得られたことなどを確認している。報告会を実施し、インターンシップの成果について確認している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間70日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	実施時間540時間以上(概ね14週間)として、受入れ企業等を募り、実施している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してインターンシッププログラムを設計している。3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている。4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している。5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	受入れ企業等に対して、新規の場合は教員が企業等担当者と面談等を行い、過去に実績のある企業等には実施状況に応じて要望等を伝えている。事後の報告会に企業等担当者も参加し、学生の発表に対してコメント等をいただいている。企業等と学校側との情報交換の場を設け、双方の要望等を交換し、インターンシッププログラムの設計に協働して取り組んでいる。企業等から学生の評価シートを提出してもらい、成績評価に加味している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	http://www.nagano-nct.ac.jp/career/intern/index.php
問い合わせ先	大学等名	長野工業高等専門学校
	担当部署名	学生課
	担当者役職名	課長補佐(学外実習担当)
	担当者氏名	桑原範行
	電話番号	026-295-7016
	メールアドレス	g_hosa@nagano-nct.ac.jp